

お客様各位

県内金融機関と連携し「手形・小切手機能の全面的な電子化」を推進

平素はJAバンク静岡をご利用いただき、誠にありがとうございます。

JAバンク静岡では、現在、「手形・小切手機能の全面的な電子化」に向け、政府、産業界、金融界が一丸となって推進するなか、その動きをさらに加速させることをめざし、静岡県内金融機関と連携してお客さまへの周知活動などに取り組めますので、その概要をご案内します。

1. 連携の目的

- JAバンク静岡では、2021 年 6 月に閣議決定された政府の「成長戦略実行計画」において「5 年後の約束手形の利用廃止」「小切手の全面的な電子化」が盛り込まれたことを受け、全国銀行協会が策定した自主行動計画に示された「2026 年度末までに電子手形交換所における手形・小切手の交換枚数をゼロにする」目標に向け、積極的に取り組んでいます。
- 電子化は、お客さまの「業務効率化による生産性向上」「手形・小切手の現物紛失回避等によるリスク低減」「印紙不要等によるコスト削減」などを実現するとともに、紙削減による環境負荷低減にもつながります。
- 本取り組みのさらなる普及、促進をめざし、今後は、県内金融機関と連携してお客さまの電子的決済手段への移行を支援していきます。

2. 連携金融機関（金融機関コード順）

静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、静岡中央銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、浜松いわた信用金庫、沼津信用金庫、三島信用金庫、富士宮信用金庫、島田掛川信用金庫、富士信用金庫、遠州信用金庫、静岡県労働金庫、JAバンク静岡

3. 連携内容

- 電子化にかかる共同リーフレットの活用、お客さまへの周知活動
- 電子的手段（インターネットバンキング等）の推進、導入支援 など



至急 2027年3月末まで
手形・小切手 全面電子化

※期限：2026年度までの約束手形の利用廃止・小切手の全面的な電子化の対応を求めています。

電子化に向けた対応が遅れると、事業活動に支障が生じる恐れがあります

取引先と決済できない	手形・小切手帳を入手できない	手形の代金取立を依頼できない
近所の方針を無視し、紙の手形・小切手を利用する企業との取引を継続して、紙の手形・小切手に基づく取引を続けることにより、取引先との関係が壊れ、取引が中断する恐れがあります。	手形・小切手帳の製造メーカーでは、紙の手形・小切手帳の製造を中止しているため、紙の手形・小切手帳の入手が困難になります。	2027年3月末以降は紙の手形・小切手に基づいた取引が停止されるため、紙の手形・小切手に基づいた取引の停止を要する恐れがあります。

静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、静岡中央銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、浜松いわた信用金庫、沼津信用金庫、三島信用金庫、富士宮信用金庫、島田掛川信用金庫、富士信用金庫、遠州信用金庫、静岡県労働金庫、JAバンク静岡



紙の手形・小切手 利用廃止へ

2027年3月末まで
紙の手形・小切手
交換廃止

2027年3月末までに
紙の手形・小切手の交換が廃止されます。

静岡方針（※）を参考に、産業界・金融界が連携して手形・小切手の利用廃止に向けた取組を行っています。今すぐ、でんさい帳の電子記録帳簿やインターネットバンキングによる振込等への切り替えをお願いします。

（※）「約束手形・小切手の利用廃止に向けたアクションプラン」（「新しい働き方推進のデジタル化推進計画」2020年度版）（2021年）

静岡銀行、スルガ銀行、清水銀行、静岡中央銀行、しずおか焼津信用金庫、静岡信用金庫、浜松いわた信用金庫、沼津信用金庫、三島信用金庫、富士宮信用金庫、島田掛川信用金庫、富士信用金庫、遠州信用金庫、静岡県労働金庫、JAバンク静岡

